

コーポレート・ハイブリッド証券 ファンド2016-07 (為替ヘッジあり) (愛称：メジャー・カンパニーズ16-07)

運用報告書(全体版) 第6期

(決算日 2019年9月17日)
(作成対象期間 2019年3月19日～2019年9月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約3年8カ月間（2016年7月29日～2020年3月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>の受益証券
	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇TUZ0330320190917◇

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3303>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額					受益者 受戻り	公社債 組入比率	元残 存本率
	(分配落)	税金 分配	み 入金	期 騰落	中 額騰落			
設定 (2016年7月29日)	円 10,000	円 —	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1期末 (2017年3月17日)	10,183	40	223	2.2	3.5	94.5	98.2	
2期末 (2017年9月19日)	10,351	20	188	1.8	3.6	96.8	77.2	
3期末 (2018年3月19日)	10,353	20	22	0.2	2.6	95.4	54.4	
4期末 (2018年9月18日)	10,307	20	△ 26	△ 0.3	1.9	93.8	37.2	
5期末 (2019年3月18日)	10,307	20	20	0.2	1.6	90.1	28.4	
6期末 (2019年9月17日)	10,254	20	△ 33	△ 0.3	1.3	49.7	25.0	

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

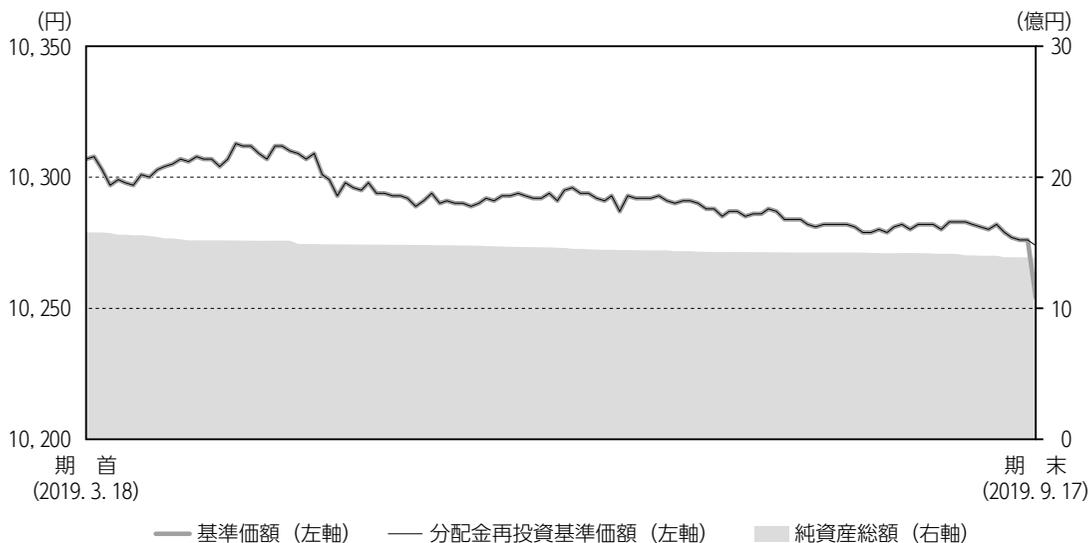
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,307円

期末：10,254円（分配金20円）

騰落率：△0.3%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

保有ハイブリッド証券からのインカム要因等はプラス要因となったものの、運用管理費用などがマイナス要因となり、基準価額は小幅に下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07 (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2019年 3月18日	10,307	—	90.1
3月末	10,300	△ 0.1	89.8
4月末	10,307	0.0	86.6
5月末	10,290	△ 0.2	68.7
6月末	10,293	△ 0.1	64.7
7月末	10,284	△ 0.2	65.3
8月末	10,283	△ 0.2	63.9
(期 末) 2019年 9月17日	10,274	△ 0.3	49.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 3. 19 ~ 2019. 9. 17)

コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市況は堅調に推移しました。

2019年3月にECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が利上げの延期を表明するなど、世界的に金融政策が緩和方向にシフトしたことにより、投資家のリスク選好姿勢が強まり、コーポレート・ハイブリッド証券市況はおおむね堅調に推移しました。良好な企業ファンダメンタルズや相対的に高い利回りを求める投資家の需要も、コーポレート・ハイブリッド証券市場を下支えしました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

引き続き、「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行います。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

ポートフォリオについて

(2019. 3. 19 ~ 2019. 9. 17)

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の組入比率は、当作成期を通して徐々に引き下げました。

マザーファンドにおいて組み入れているコーポレート・ハイブリッド証券は順次償還を迎えましたが、その償還金の再投資先として、投資家の利益となるような適切な投資対象が存在しない状況が続きました。

マザーファンドの組入比率に応じて、運用管理費用（信託報酬）の一部引き下げを行っています。

また、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行いました。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しています。

保有するコーポレート・ハイブリッド証券は当初予想通りに償還が進みましたが、コーポレート・ハイブリッド証券が償還した後の再投資においては、諸コスト（為替ヘッジコスト含む）控除後の収益を確保できる投資対象が限られていたため、再投資を見送りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は20円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額37,059,521円が、経費控除後の配当等収益21,953,535円を超過しているため、純資産額の元本超過額37,059,521円（1万口当り274.18円）を分配対象額として、うち2,703,205円（1万口当り20円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の組入比率は、保有コーポレート・ハイブリッド証券の満期もしくは繰上償還に伴い、徐々に低下する見込みです。また、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行います。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 19~2019. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,292円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0.266)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.324)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	64	0.621	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

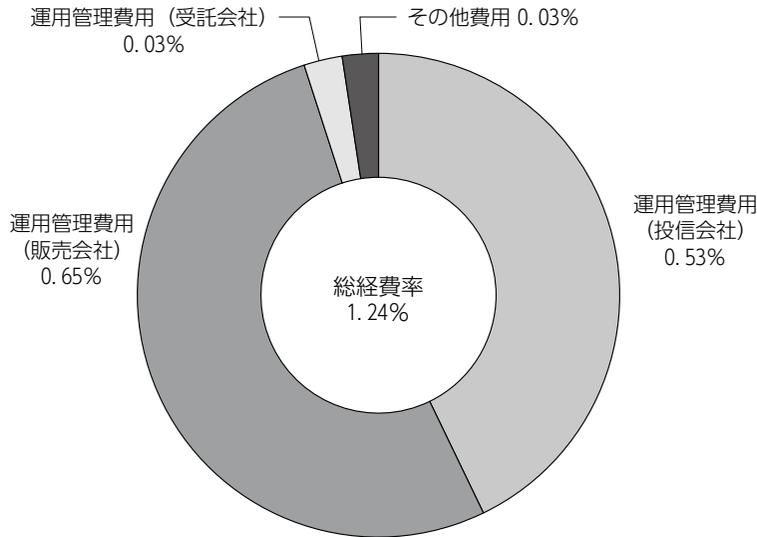
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年3月19日から2019年9月17日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	—	—	598,069	651,000

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	1,366,922	768,853	826,825

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	826,825	58.7
コール・ローン等、その他	582,554	41.3
投資信託財産総額	1,409,380	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.20円、1イギリス・ポンド=134.35円、1ユーロ=119.13円です。

（注3）コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>において、当期末における外貨建純資産（1,194,915千円）の投資信託財産総額（1,197,616千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,223,764,065円
コール・ローン等	582,554,925
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>（評価額）	826,825,104
未収入金	814,384,036
(B) 負債	837,804,959
未払金	825,815,971
未払収益分配金	2,703,205
未払信託報酬	9,225,129
その他未払費用	60,654
(C) 純資産総額（A－B）	1,385,959,106
元本	1,351,602,790
次期繰越損益金	34,356,316
(D) 受益権総口数	1,351,602,790□
1万口当り基準価額（C／D）	10,254円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,254円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月19日 至2019年9月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 108,790円
受取利息	40
支払利息	△ 108,830
(B) 有価証券売買損益	155,243,679
売買益	187,422,792
売買損	△ 32,179,113
(C) 有価証券評価差損益	△ 150,546,559
(D) 信託報酬等	△ 9,815,888
(E) 当期損益金（A+B+C+D）	△ 5,227,558
(F) 前期繰越損益金	47,063,525
(G) 解約差損益金	△ 4,776,446
(H) 合計（E+F+G）	37,059,521
(I) 収益分配金	△ 2,703,205
次期繰越損益金（H+I）	34,356,316

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は6ページをご参照ください。

（注5）投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：2,161,417円（未監査）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	20円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

●**運用指図権限の委託先の変更について**

外貨建資産の運用に関する権限の委託先を「アムンディ・アセットマネジメント」から「アムンディ・UK・リミテッド」に変更しました。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

運用報告書 第7期 (決算日 2019年9月17日)

(作成対象期間 2019年3月19日～2019年9月17日)

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
株式組入制限	無制限

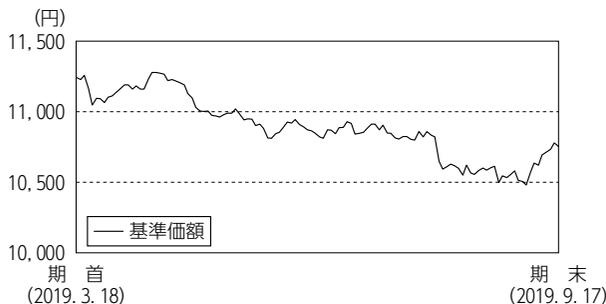
大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	%	
(期首) 2019年3月18日	11,245	—	92.5
3月末	11,104	△ 1.3	95.0
4月末	11,128	△ 1.0	93.4
5月末	10,882	△ 3.2	94.0
6月末	10,891	△ 3.1	95.2
7月末	10,835	△ 3.6	95.3
8月末	10,580	△ 5.9	94.8
(期末) 2019年9月17日	10,754	△ 4.4	83.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,245円 期末：10,754円 騰落率：△4.4%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期のハイブリッド証券市場は堅調に推移しましたが、米ドルやユーロが対円で下落したことにより、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市況は堅調に推移しました。

2019年3月にECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が利上げの延期を表明するなど、世界的に金融政策が緩和方向にシフトしたことにより、投資家のリスク選好姿勢が強まり、コーポレート・ハイブリッド証券市況はおおむね堅調に推移しました。良好な企業ファンダメンタルズや相対的に高い利回りを求める投資家の需要も、コーポレート・ハイブリッド証券市場を下支えしました。

○為替相場

為替相場は対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月にかけて、為替相場はおおむね横ばい推移となりました。5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、米ドルやユーロは対円で下落傾向となりました。8月に入ると、トランプ米大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから、市場のリスク回避姿勢が強まり、米ドルやユーロの下落が進行しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

◆ポートフォリオについて

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しています。

保有するコーポレート・ハイブリッド証券は当初予想通りに償還が進みましたが、コーポレート・ハイブリッド証券が償還した後の再投資においては、諸コスト(為替ヘッジコスト含む)控除後の収益を確保できる投資対象が限られていたため、再投資を見送りました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	1
(保管費用)	(1)
(その他)	(0)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

		買付額	売付額
		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外 国	アメリカ	社債券 —	101 (—)
	イギリス	社債券 —	(899)
	ユーロ (オランダ)	社債券 —	(2,300)
	ユーロ (フランス)	社債券 —	240 (2,600)
	ユーロ (イタリア)	社債券 —	446 (—)
	ユーロ (その他)	社債券 —	(1,237)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	社債券 —	686 (6,137)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
		Enel SpA (イタリア) 5.451% 2074/1/10	54,300
		Orange SA (フランス) 4.25% 永久債	29,610
		Credit Agricole SA (フランス) 8.375% 永久債	11,134

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 3,880	千アメリカ・ドル 3,895	千円 421,537	% 35.2	% 6.5	% 35.2	% —	% —
イギリス	千イギリス・ポンド 700	千イギリス・ポンド 713	95,878	8.0	—	8.0	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 2,967	千ユーロ 3,017	359,430	30.0	—	30.0	—	—
ユーロ (イタリア)	千ユーロ 1,000	千ユーロ 1,016	121,070	10.1	—	10.1	—	—
ユーロ (小計)	千ユーロ 3,967	千ユーロ 4,033	480,501	40.1	—	40.1	—	—
合 計	—	—	997,918	83.3	6.5	83.3	—	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	CLP Power HK Finance Ltd Credit Agricole SA SK E&S Co Ltd BPCE SA BPCE SA	社債券	4.2500	千アメリカ・ドル 1,329	千アメリカ・ドル 1,330	千円 143,937	永久債
		社債券	8.3750	767	773	83,653	永久債
		社債券	4.8750	723	723	78,228	永久債
		社債券	12.5000	750	756	81,799	永久債
		社債券	12.5000	311	313	33,919	永久債
		通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄 3,880		3,895	421,537
イギリス	Credit Agricole SA	社債券	7.5890	千イギリス・ポンド 700	千イギリス・ポンド 713	95,878	永久債
		通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄 700		713	95,878
ユーロ (フランス)	Electricite de France SA Orange SA	社債券	4.2500	千ユーロ 1,500	千ユーロ 1,523	181,496	永久債
		社債券	4.2500	1,467	1,493	177,933	永久債
国 小 計	銘柄数 金 額	2銘柄 2,967		3,017	359,430		
ユーロ (イタリア)	Enel SpA	社債券	5.0000	千ユーロ 1,000	千ユーロ 1,016	121,070	2075/01/15
国 小 計	銘柄数 金 額	1銘柄 1,000		1,016	121,070		
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄 3,967		4,033	480,501		
合 計	銘柄数 金 額	9銘柄 997,918					

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

■投資信託財産の構成

2019年9月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	997,918	83.3
コール・ローン等、その他	199,698	16.7
投資信託財産総額	1,197,616	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.20円、1イギリス・ポンド=134.35円、1ユーロ=119.13円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,194,915千円)の投資信託財産総額(1,197,616千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,197,616,994円
コール・ローン等	168,788,494
公社債(評価額)	997,918,168
未収利息	30,910,332
(B) 負債	1
その他未払費用	1
(C) 純資産総額(A-B)	1,197,616,993
元本	1,113,638,852
次期繰越損益金	83,978,141
(D) 受益権総口数	1,113,638,852口
1万口当り基準価額(C/D)	10,754円

* 期首における元本額は2,010,853,949円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は897,215,097円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり) 256,432,033円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり) II 88,353,272円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり) 768,853,547円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,754円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月19日 至2019年9月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	47,050,292円
受取利息	47,153,096
支払利息	△ 102,804
(B) 有価証券売買損益	△ 133,338,622
売買益	712,596
売買損	△ 134,051,218
(C) その他費用	△ 217,286
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 86,505,616
(E) 前期繰越損益金	250,268,660
(F) 解約差損益金	△ 79,784,903
(G) 合計(D+E+F)	83,978,141
次期繰越損益金(G)	83,978,141

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

《お知らせ》

●運用指図権限の委託先の変更について

外貨建資産の運用に関する権限の委託先を「アムンディ・アセットマネジメント」から「アムンディ・UK・リミテッド」に変更しました。